

平成20年度 地域分権


事業の評価書

池田地域コミュニティ推進協議会

平成21年5月29日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 安田 晴彦 


記

事業の名称	自主防災組織設立準備事業
事業実施前の状況	池田小学校校区内に自主防災組織が全く無かったので、まず防災意識の向上を目指し神戸の人と防災未来センター等へのバス見学や自治会長・町会長への防災アンケート調査等の啓蒙活動を行い、その準備のもとに年度内に校区内で2組織以上の自主防災組織設立を目標とした。
事業実施後の状況	池田小学校校区内に建石町自主防災会、大和町防災会、城南防災会、ザ・ライオンズ池田自主防災会の4つの自主防災組織が設立された。
事業の効果	各自主防災組織による防災訓練が実施され、それぞれ100名を超える住民参加を得て、防災知識の取得と相互共助の環境を整えるスタートが切れた。また他の自治会・町会でも自主防災組織の設立機運が生じている。
今後の課題等	(1)既存自主防災組織の機能強化 防災資機材配備と防災訓練の継続 (2)校区内自主防災組織の組織化率向上と組織間連携 コミュニティ紙等による啓蒙活動の継続 自主防災組織間の連携体作り（来年度）

平成 21 年 5 月 29 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 安田 晴彦 

記

事業の名称	コミュニティ誌 ^紙 等発行事業
事業実施前の状況	池田地域コミュニティ推進協議会の活動内容などを広く地域住民に P R するため地域コミュニティ誌 (誌名 : 「コミュニティ通信・いけだ」) を年 2 回全戸配布する。
事業実施後の状況	当初年 2 回発行を予定していたが、できるだけ多くの情報を地域住民の方に知らせるため、創刊号を含む年 5 回発行 (平成 20 年 3 月・7 月・10 月・平成 21 年 1 月・4 月の各月 1 日) した。配布方法は池田市広報誌に折り込み、各回 6000 部の総発行部数は 3 万部となった。
事業の効果	5 回にわたる全戸配布により、地域コミュニティの存在、実施事業内容等について地域住民のより多くの方に認知していただいた。
今後の課題等	地域住民の声が反映される紙面づくりを心がける。 i. 地域自治会代表者や個々住民の意見・要望等が生かせる事業提案参加型の紙面づくりをする。 ii. 各地域内のニュース性ある行事や話題等の掲載を通じて池田地域をより身近に感じてもらえるよう努力する。

平成 21 年 5 月 29 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 安田 晴彦 

記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	地域内掲示板の内、老朽化して使用不可の物や美観上好ましくない物、又新設の必要性ある箇所が 30 箇所散見された。統一されたイメージの掲示板設置により使用頻度の向上、町の美化につなげる。 初年度は 7 箇所設置を予定する。
事業実施後の状況	7 箇所設置予定が 6 箇所になった。
事業の効果	設置後の使用状況を見ると貼付用紙がきめ細かく張り替えられており使用頻度の向上が覗える。町の通りの美観も良くなった。
今後の課題等	今後の作製に当たり、更に使い勝手のよさが求められている。 i. 押しピン使用時の適度な硬度を持った貼り付け面材質の選択 (板張り面は硬すぎて押しピンが刺さりにくい) ii. 雨風に影響されない透明トビラ付の掲示板

平成 2 1 年 5 月 2 9 日

事 業 の 評 価 書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 安田 晴彦



記

事 業 の 名 称	地域回覧板作製事業
事業実施前の状況	地域コミュニティ事業計画内容や活動報告を適宜知らせるため、丈夫な使い勝手のよい回覧板を自治会の総組数分作製する。
事業実施後の状況	地域 1 7 自治会会員に対し見開き A3 版の物を各自治会の組数に応じて 4 0 0 個配布した。
事業の効果	アンケートで 1 7 自治会の内、6 5 % が「よく利用している」との結果であった。
今後の課題等	広報誌「コミュニティ通信・いけだ」発行の空白期間中に起きた伝達すべき地域コミュニティの活動情報を住民にタイムリーに知らせる回覧板とする。

21年 5月 25日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 安田 晴彦



記

事業の名称	池田地域生活安全推進事業 (公園灯強化事業、街路灯強化事業)
事業実施前の状況	校区内にかねてより街路灯の不備及び防犯灯の照度不足の為、夜間通行の危険箇所及び防犯上に問題がある箇所が見受けられた (具体的な位置は地域懇談会で把握していた)
事業実施後の状況	別紙添付
事業の効果	街路灯周辺が明るくなり安心して夜間に通行できるようになった。 駐車場入り口付近は車のトラブルが減少した。 児童公園周辺の照度アップによりポイ捨て、たまり場が解消された。
今後の課題等	別紙添付

事業実施後の状況

池田地域街路灯設置工事

番号	設置箇所	引込柱	取付柱	内容	市管理番号
1	新町6-6	関電柱 キハ18E1	新設ポール	蛍光灯36W取付	
2	新町7-16	関電柱 キハ18E1	新設ポール	蛍光灯36W取付	
3	新町9-6	関電柱 サカエマチ19W3S4	NTT柱 シンマヒカシ4R1	蛍光灯20W→36W取替	10-55
4	新町2-14	関電柱 シンマチ9	壁面取付	蛍光灯20W→36W取替	10-16
5	新町9-15	関電柱 サカエマチ19W3S1	同左	蛍光灯20W→36W取替	10-50
6	新町10-17	関電柱 サカエマチ19W3S5	NTT柱 タイシヤ3L5	蛍光灯36W取付	
7	綾羽1-3-5	関電柱 サカエマチ12W3	同左	蛍光灯20W→36W取替	10-79
8	綾羽1-3-4	関電柱 サカエマチ12W1	同左	蛍光灯20W→36W取替	10-78
9	綾羽1-1-3	関電柱 サカエマチ12E2	同左	蛍光灯20W→36W取替	10-59
10	栄本町8-4	関電柱 ホンマチ1S2E4	既設ポール	蛍光灯20W→36W取替	12-08
11	西本町2	関電柱 ツキノキ20W3N8	新設ポール	蛍光灯36W取付	
12	西本町2-5	関電柱 ツキノキ20W3N2	既設ポール	蛍光灯20W→36W取替	10-25
13	榎木町5-10	関電柱 ツキノキ20W3G1	NTT柱 ツキノキ4R2R1	蛍光灯36W取付	
14	榎木町1-19	関電柱 ツキノキ20W2	NTT柱 ツキノキ4R1L1	蛍光灯20W→36W取替	13-44
15	蓮石町7-17	関電柱 タイン7	新設ポール	蛍光灯36W取付	
16	蓮石町7-8	関電柱 タイン4	NTT柱 タイン7	蛍光灯36W取付	
17	蓮石町7-1	関電柱 ホンマチ22N3W3N1	同左	蛍光灯36W取付	
18	蓮石町8-4	関電柱 タイン1	新設ポール	蛍光灯36W取付	
19	城南1-7-18	関電柱 ジョウナン6N2Q1E3	NTT柱 カクタイ7R2	蛍光灯36W取付	
20	城南2-2-11	関電柱 スガ7710	同左	蛍光灯36W取付	
21	城南3-4-11	関電柱 ジョウナン15N3E3N2	新設ポール	蛍光灯36W取付	
22	城山町4-17	関電柱 サカエマチE18N4	新設ポール	蛍光灯36W取付	
23	城山町4	関電柱 タイン3N6W4	新設ポール	蛍光灯36W取付	
24	城山町4-9	関電柱 タイン3N9W3N2	NTT柱 タイン3L13L1	蛍光灯36W取付	
25	上池田1-1-3	関電柱 マスモト11N2	新設ポール	蛍光灯36W取付	
26	城山町4	関電柱 タイン3N9W3N4	新設ポール	蛍光灯36W取付	
27	綾羽2-4	関電柱 サカエマチ19W1N1	同左	水銀灯100W→100W取替	10-95
28	綾羽2-4	関電柱 サカエマチ23W1W1	同左	水銀灯100W→100W取替	10-98
29	上池田	江戸池公園		蛍光灯 57W	
30	上池田	"		水銀灯 200W	

取付種別及び数量内訳

新設 17箇所	ポール	蛍光灯36W	10箇所	全28箇所
	関電柱	蛍光灯36W	2箇所	
	NTT柱	蛍光灯36W	5箇所	
取替 11箇所	ポール	蛍光灯20W → 36W	2箇所	
	関電柱	蛍光灯20W → 36W	4箇所	
	関電柱	水銀灯100W → 100W	2箇所	
	NTT柱	蛍光灯20W → 36W	2箇所	
	壁面	蛍光灯20W → 36W	1箇所	

今後の課題等

事業の性質からして、具体的な効果検証が行いにくいことが差し当たっての課題として挙げられる。

一般的な事業の検証法としては、利害関係にある人々からのヒアリングが挙げられるが、こと街路灯（防犯灯・公園灯）設置事業に関しては、付近住民のみではなく、その道路を通過する人、公園を利用する人々なども利害関係者となるため、通常の検証では効果が測定しにくい。平成20年度に関しては、池田小学校区のみならず他の区域においても挙げられた事業であり、以降も挙げられることが予想されるため、統一した見解が必要である。

今回の街路灯設置事業のみならずあらゆる事業において、市のほうで前例や具体的方法を例示してもらえたら、効率的かつ各コミュニティで共通した認識のもとで検証を行えると思うので、出来れば検討してほしい。

全体としての効果検証の側面だけでなく、コミュニティとして予算計上の際に優先度をつけるときにも課題が残る。今回の事業は、実施の根拠として地域で作成した安全マップを利用しているが、以降に同様の要望が地域から挙げられた場合に、どのような基準で予算計上すべきかを検討する必要がある。

おそらく各自治会で取りまとめた要望を校区内全体について比較検討を行い、優先順位をつけていくことになるだろうが、相互に摩擦が起きないように計らいながら、どのように調整を行うか考える必要があり、地域コミュニティの中立性が求められる。


また、予算の成立過程にも改善を求めたい。地域の声をまとめ上げるまでは努力が出来るが、短い期間の中で有用性の検証や、担当課との調整まで行うことは困難であり、効率的に予算計上をまで行うプロセスがあればと思う。

特に担当課を予算計上後に振り分けると言う現行の仕組みでは、コミュニティで挙げた意見が市の仕組みにそぐわずに不採用となり、締切も過ぎているためにやり直しも出来ず、結果地域の声が十分に反映されないという事態が起こりうる。コミュニティ会員・市職員サポーター・担当課（事業の担当課のみならず、地域分権の担当課）の連携が活発に図れるような仕組みの構築を求めたい。

平成 21 年 5 月 29 日

池田地域コミュニティ推進協議会
平成 20 年度事業の評価について

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 会長 安田 晴彦 

○ 標記に関して、池田地域コミュニティ推進協議会としてはコミュニティ協議会の各部会
がそれぞれの事業を評価したものを 評価書 その1 として提出いたします。それとは
別に平成 20 年度に実施した 5 つの事業について地域の皆様方のご意見（アンケートと
して）をいただきました。その集計結果を 評価書 その2 としてお届けします。

アンケートは、平成 21 年 5 月中旬に池田小学校校区 18 自治会・町会の各 5 名の方
にそれぞれの会長経由にて計 90 通の回答をいただく方法で行いました。アンケートの
回収率は 86% でした。

この集計結果によりますと池田地域コミュニティ推進協議会の取り組みについては
78% の方々にご承知いただいております、地域内自治会・町会で協議会の活動がかなり知
られていることが分かりました。

○ また、協議会の 5 事業、すなわち「自主防災組織設立準備事業」「池田地域生活安全
推進事業」「池田地域コミュニティ推進協議会 PR 事業（掲示板の新設及び老朽化掲
示板の交換、回覧板の作製・配布、地域コミュニティペーパーの発行）」の平成 20 年度
の活動に関しまして、その評価を 10 点満点方式により採点をいただきました。その結
果はすべての事業の評価点が 7.8 点から 8.7 点の間にあり、5 事業の平均点は 8.3 点と
なりかなり良い評価をいただきました。

このアンケートの記述回答では協議会活動に対する励ましやお礼の言葉と共に建設
的なご意見やご提案も頂いております。そのご意見には協議会活動状況のさらなるアピ
ールや地域全体の連携等が含まれています。今後はこれらのご意見も協議会活動に反映
させていただき、協議会の事業が住民の皆様にも、より効果のある展開となることを目指
す所存でございます。今後ともよろしくご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し
あげます。

なお、この種のアンケートは本来池田市や第三者機関等にて行われるべきものとのご
意見がございますが、今回は池田地域コミュニティ推進協議会が自ら実施したものであ
ることをお断りしておきます。

池田 晴彦